

# 道

2023年4月18日  
(第95号)

小田川と宮田橋



高校一年の時、クラスの生徒から「ゴマすり」と言われたのを思い出す。小学校の時から、先生の言うことを信じて疑わない子どもだった。運動が苦手、内気で弱気、おどおど人の顔色を気にしているような、子ども。ちよいワルのその級友は、真面目を装う僕を睨みつけた。▼そんな僕も少しずつ変わっていく。高校の「部落問題研究会」との関わりがひとつのきっかけになった。集会に参加し、本を読み、議論に加わるなかで、差別や貧困などに目を向け、そこに社会の矛盾を見た。そうした社会の仕組みを何とかしなければ、などと考えた。不合理な規則で縛る高校の教師に反発した。▼多くの問いを突き付けられた。例えば、被差別部落出身でない僕が部落問題に取り組むのはなぜか。苦しみや痛みはその当事者でなければ分からないのか。矛盾だらけの世の中で弱い自分が如何に生きるか。真剣に悩んだ。いろんな「壁」があった。▼誰かの言葉や、書かれていることを鵜呑みにして、分かったようなつもりになった。様々思いあたる。先生に素直に従う小中学生だった僕が、後に反発反抗するようになる。これは、別の新たな妄信に従っていただけと言えなくもない。それが無意味だったとは思わない。必要な階段であった。▼「壁」。どう立ち向かったか。懸命だった。挫けも逃げもした。そんな繰り返し返しの結果が今なのだ。子どもの頃の僕とどれだけ変わったというのだろうか。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

電話：090-5366-1497

メール：michi-care@outlook.jp

ホームページ：https://michi-care.jimdo.com/

〈道〉LINE：https://lin.ee/zCG7Iyp



林道也



真備町箭田／服部  
遠田地区

▼この通信は、〈道〉LINE(公式アカウント)でも配信します。URL、または、左の QR コードから「友だち追加」していただければ、あなたの LINE に届きます。▼ホームページにも掲載しています。